

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標	
「一人ひとりの子どもを徹底的に大切に、どの子どもにも居場所となる学校づくり」を目指します。	
(1) 人権教育を基盤とし、児童一人ひとりに寄り添った支援・指導をすることにより、あたたかな学級・学校風土をつくりま す。	
(2) 学びに向かう力を高め、確かな知識・技能の習得やそれを活用する思考力・判断力・表現力の育成を図ります。	
(3) 学級や学年を超えた集団の活動を充実することにより、自他を大切に、共によりよく生きる力を育てます。	
(4) 保護者や地域との連携を図ることにより、地域や社会に関心を持ち、高田のまちを愛し、大切に作る心を育てます。	
(5) 自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図り、考えを表現したり合意を形成したりする力を育てます。	

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①ペア学年との交流を更に充実させていくとともに、緑豊かな環境の中で生き生きと自然にかかわりながらより良く生きる子どもの姿を目指す。 ②子どもが自主的に活動に取り組むことができるように委員会活動を活用しながら人権的な心情を養っていく。 ・ペア学年との活動を通して、実践力や主体性、思いやりの心や協力する心を育てる。 ・「運動会」やペア学年との取組を中心に、自主性・社会性、相互理解や連帯感を育て、もてる力を発揮して物事にチャレンジする意欲を育てる。 ・「合唱フェスティバル」など、音楽に親しむ環境づくりに努め、自分らしさを発揮し、最後までやりとげる力やお互いのよさを認め合う心や態度を育てる。
担当	生活指導部 道徳部	

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は、落ち着いた態度で学習に臨み、仲良く過ごしている。地域に子供会が組織されていないが、夏休みなどに実施される地域主催の行事にも、進んで参加する子が多く見られる。まじめで素直な子どもたちが多く、あいさつができる子もたくさん見られる。自分なりの目標、めあてをもち、それに向かって一生懸命取り組んでいる。しかし、その反面、自分の思いを表現する事が苦手で、人の気持ちを考えて行動することがなかなかむずかしい面も見られ、幼さが残る。また、失敗するとあきらめてしまい、最後までやりとげられないという弱い面も見られる。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・全学級の年間1回以上授業公開後、懇談会で話題として取り上げる。
- ・ペア学年との交流を中心に、「相手意識」を養い、思いやりの気持ちを育む。

【項目 人権教育】人権感覚・意識の育成

- ・人権教育に対する組織的な取組の推進・人権が尊重される授業作りのための校内研修の充実
- ・児童が自主的な活動に取り組めるよう委員会活動等を活用しながら人権的な心情を養う。

【項目 特別支援教育】特別支援教育の充実

- ・個別の教育支援計画・個別の指導計画の充実・必要な児童に対しての教育支援計画の作成
- ・交流及び共同学習の充実・学び合いながら相互理解を深める。
- ・毎月の職員会議に児童指導についての共有を行い、特別支援教育の意識を高める。